

北九州PCB処理事業所

第2期施設解体撤去工事 の実施について

18

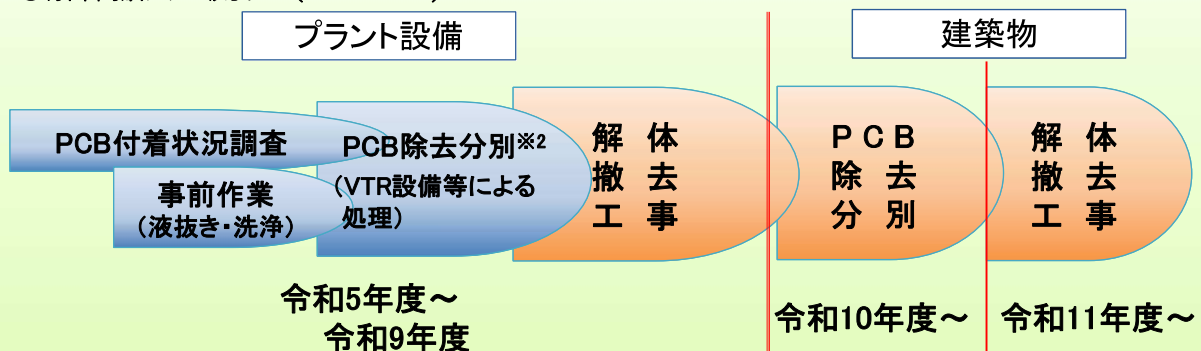
2期施設の解体撤去の進め方(予定)

○解体撤去について

2期施設の解体撤去は、今年度より作業を行っていく上で必要のなくなった設備から順次除去分別及び解体撤去を進めています。

2期施設は1期施設よりも規模が大きく、除去分別や解体撤去工事で発生する廃棄物を一度に払出や処理が出来ないことから、順次、解体撤去を進めていきます。

○解体撤去の流れ (イメージ)



※ PCB除去分別とは、設備、機器等に残存あるいは付着している高濃度PCBを洗浄装置、VTR装置やふき取りにより取除く作業です。
除去分別の完了した設備については、PCB濃度を確認のうえ無害化処理認定施設へ払出します。

19

2期施設の解体撤去スケジュール(予定)

2期施設の解体撤去スケジュール(予定)は、下表のとおりです。

表 北九州2期施設解体撤去スケジュール(予定)

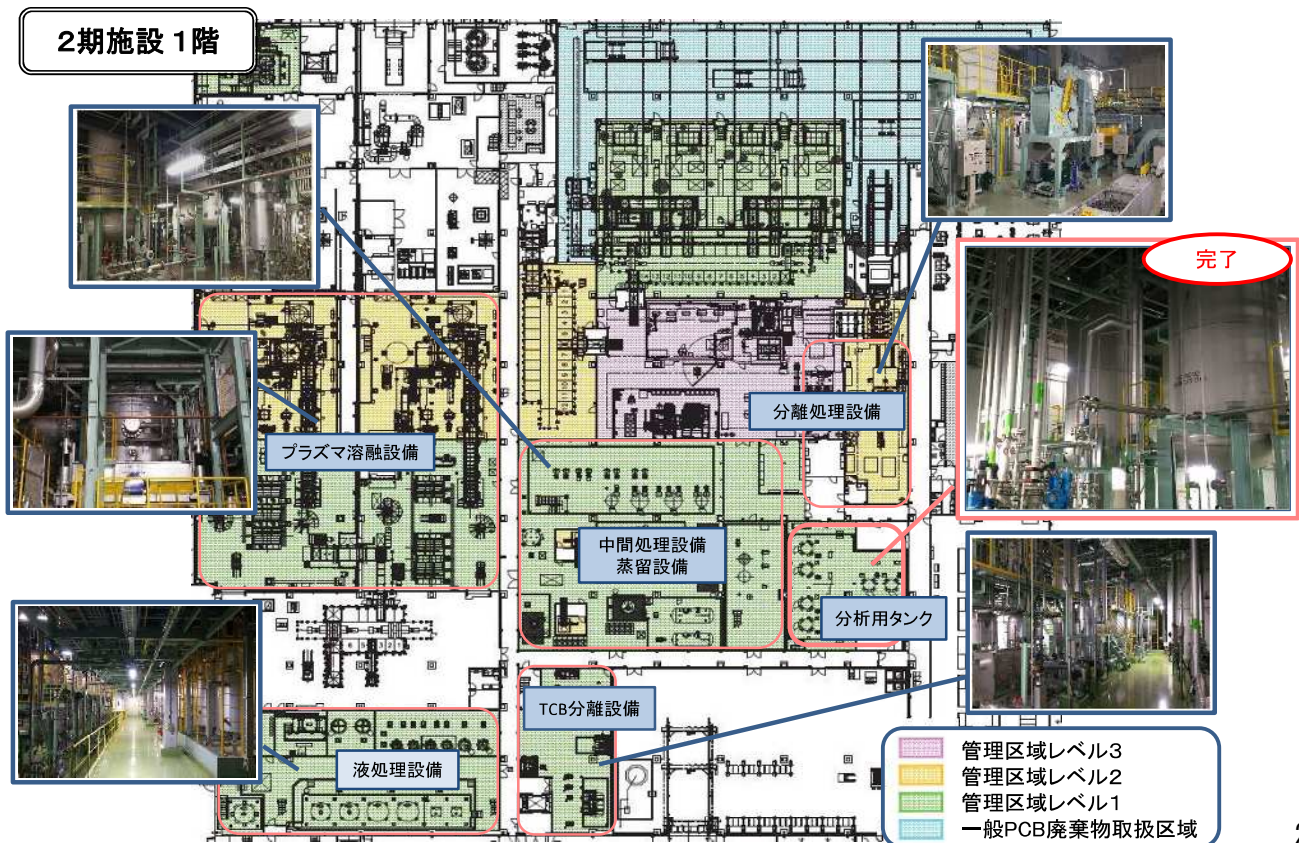
年度 解体設備	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11~
営業物処理	▶					建屋除去分別	建屋解体撤去
液抜き・洗浄・除去分別作業	▶						
プラント解体撤去	▶						
解体物のVTR処理	▶						

※ ▶: 営業物処理期間 ▶: 液抜き・洗浄・除去分別作業
 ▶: 解体撤去期間 ▶: 設備稼働期間

※今後の検討状況によりスケジュールに変更の可能性があります。

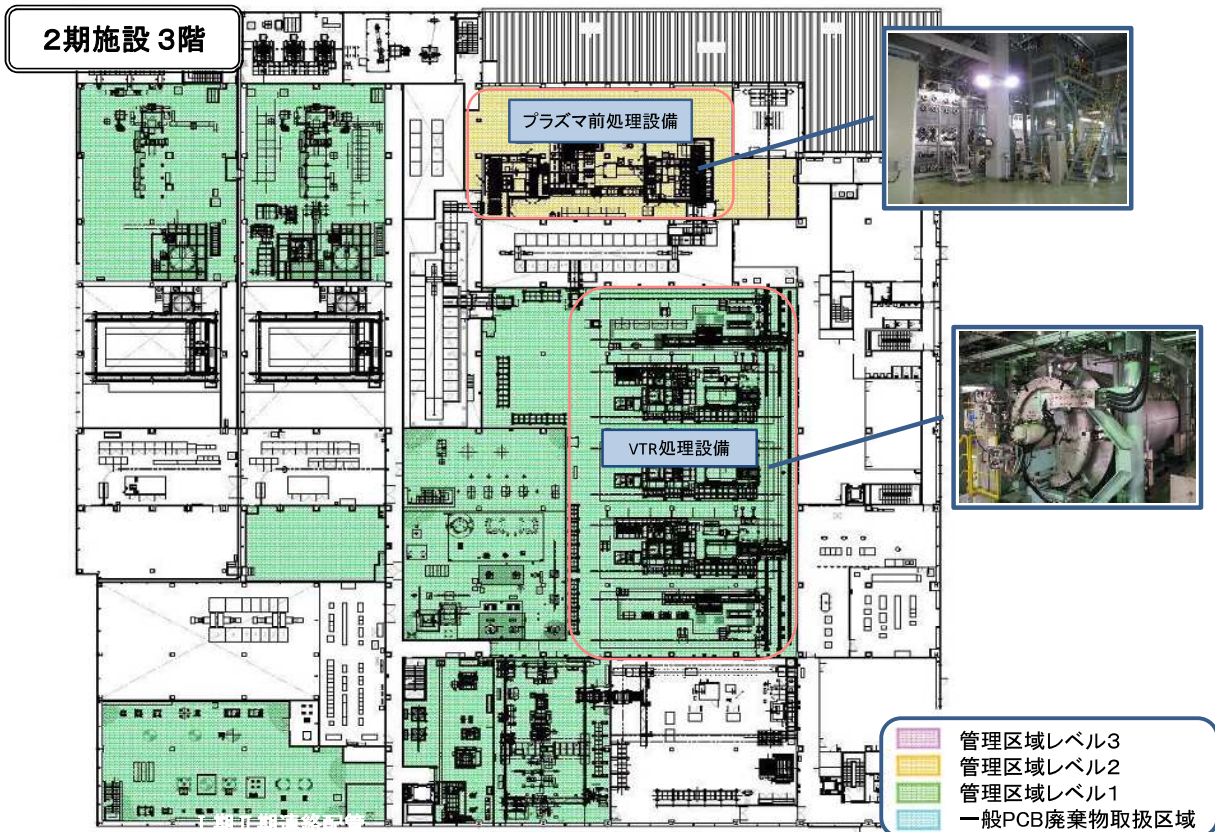
20

主な解体予定設備



21

主な解体予定設備



22

解体撤去の安全対策について

操業中と同様に施設内の負圧管理の徹底や局所排気装置の活用によるPCB飛散防止措置を行い周辺環境及び作業員の安全を確保します。

また、JESCOによる入構教育等の安全衛生教育を実施するとともに、定期的な環境モニタリングや作業環境測定、安全パトロールなどを行い、安全対策に問題が無いことを確認します。

<安全対策の具体例>



○局所排気装置
切断作業などの作業では、局所排気装置を活用して、PCBの飛散を防止します。



○作業前教育
PCB取扱時の注意事項を教育し、PCBの拡散や暴露防止を徹底します。



○作業環境測定
定期的な測定を行うことで、PCBの漏洩等が無いことを確認します。

23

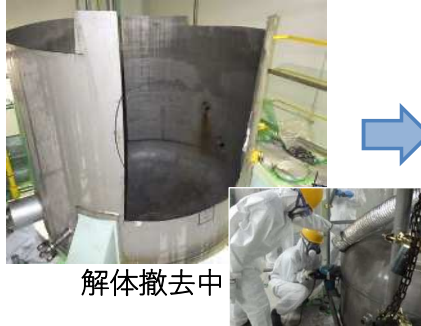
分析用タンク解体撤去工事

- ・令和5年9月～11月に2期施設で分析用タンクの解体撤去を実施しました。
- ・作業中の排気、作業環境測定共に問題なく安全に作業を完了しました。

◆分析用タンクの解体撤去



解体撤去前



解体撤去中



解体撤去後

◆解体撤去物のVTR処理



VTRケース詰込



VTR処理



VTR処理後

24

解体工事中の排気・作業環境測定

【2G8 排気】

		作業前 2023.8.4	作業中 2023.10.27	作業後 2023.12.18
PCB	mg/m ³	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
DXNs	ng-TEQ/m ³	0.0000064	0.0000036	0.0000020

【市協定値】 PCB : 0.005mg/Nm³以下
DXNs: 0.08ng-TEQ/Nm³以下 (=80pg-TEQ/Nm³以下)

【作業環境】

		作業前 2023.8.31	作業中 2023.10.27	作業後 2023.12.11
PCB	mg/m ³	0.0001未満	0.0003	0.0001未満
DXNs	pg-TEQ/m ³	0.27	0.65	0.60

【作業環境管理濃度】 PCB : 0.01mg/m³以下
【管理すべき濃度基準】 DXNs: 2.5pg-TEQ/m³以下

25

PCB暴露試験（個人サンプラー）

【個人サンプラー】

切断作業等における作業員のPCB暴露試験を実施した。

【試験日】 10月27日



写真1 正面取付け写真



写真2 背面取付け写真

測定項目	作業内容・場所	作業者	測定値 (mg/m ³)	備考
個人 サンプラー	タンク切断	A	0.0003	70分サンプリング (1.5L/min)
	タンク切断 (局排操作)	B	0.0002	〃
	切断刃交換	C	0.0003	〃
作業環境	解体エリア近傍	—	0.0002	80分サンプリング (1.5L/min)

【作業環境管理濃度】 PCB : 0.01mg/m³以下



写真3 タンク切断作業時の個人サンプラー実施状況